

布野中だより

平成29年9月11日(月)
第5号
三次市立布野中学校

4月に3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」と6月に2年生を対象に行われた広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果をお知らせします。

○【広島県「基礎・基本」定着状況調査】(対象；2年生)

<教科全体の平均通過率(%)>

	国語	数学	理科	英語
布野中平均	77.4	73.9	61.9	82.2
三次市平均	70.0	67.0	49.8	77.8
広島県平均	69.2	66.9	50.8	72.4

<本校の平均通過率と広島県の平均通過率との比較>

	相対的に本校の平均通過率が高い主な項目	相対的に本校の平均通過率が低い主な項目
国語	<ul style="list-style-type: none"> 読むことの問題(登場人物の状況の把握) 書くこと読むことの問題(情報の取り出し・整理) 言語事項の問題(漢字の読み書きや故事成語) 	<ul style="list-style-type: none"> 事象や行為などを表す多様な語句 登場人物の心情の把握 要旨の把握
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数と式の問題(四則の計算, 分数の除法, 累乗の計算や一次方程式) 図形の問題(対称移動) 	<ul style="list-style-type: none"> 作図の利用 自然数の意味 事象の数学的な解釈
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生物の問題(植物の呼吸を調べる実験の条件制御や水中の小さな生物の名称) 物理の問題(水中の物体の見え方) 化学の問題(密度の定義と式) 地学の問題(火山灰の観察方法) 	<ul style="list-style-type: none"> 物理の問題(目的に正対した考察) 地学の問題(砂岩と判断する根拠や地層の広がり方) 化学の問題(状態変化のグラフ)
英語	<ul style="list-style-type: none"> 話すことの問題(あらかじめ読んだ文章についての問答, コミュニケーションへの積極性と継続) 書くことの問題(基本的な文のきまりを理解した作文, 会話の場面に応じて適切に英文を書く) 読むことの問題(適切な文を用いた会話文の組み立て) 	<ul style="list-style-type: none"> 話すことの問題(自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す) 読むこと書くことの活用問題(根拠となる英文の読み取り)

<生活と学習について>

「生活と学習」の調査項目のうち、「授業の予習をする」(肯定的回答；本校62.5%, 県40.1%), 「勉強の計画を立てている」(肯定的回答；本校75.0%, 県53.0%), 「将来の夢や目標はかなうと思う」(肯定的回答；本校87.5%, 県67.1%), 「家で本や資料を使って勉強している」(肯定的回答；本校75.0%, 県49.0%)などは、県平均を上回っていました。一方で、「将来、仕事や生活の中で役立つと思うから勉強している」(肯定的回答；本校62.5%, 県79.5%), という結果でした。また、平日の家庭学習時間が2時間未満の生徒が50.0%, 一方で、平日に2時間以上テレビを見たりゲームをしている生徒が62.5%おり、家庭での過ごし方に課題が見られました。

○【全国学力・学習状況調査】(対象；3年生)

<教科全体の平均正答率(%)>

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)
布野中平均	75.0	77.0	58.0	42.0
広島県平均	78.0	73.0	64.0	48.0
全国平均	77.4	72.2	64.6	48.1

<本校の平均正答率と広島県の平均正答率との比較>

	相対的に本校の平均正答率が高い主な項目	相対的に本校の平均正答率が低い主な項目
国語A	<ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して漢字を正しく読む。 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 目的に応じて資料を効果的に活用して話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすいように語句を選択して話す。 話すための材料を人との交流を通して集める。 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。
国語B	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を効果的に活用する。 目的に応じて必要な情報を読み取る。 必要な情報を集めるための見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。
数学A	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗法の計算ができる。 具体的な事象における2つの数量の変化や対応を、グラフから読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる。 一次関数のグラフの傾きと切片の値を基にxとyの関係を$y=ax+b$の式で表すことができる。
数学B	<ul style="list-style-type: none"> 証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができる。 与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。

<生活と学習について>

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」(肯定的回答；本校83.3%, 県56.5%), 「家で学校の授業の復習をしている」(肯定的回答；本校91.7%, 県53.4%), 「友達と話し合うとき友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる」(肯定的回答；本校100%, 県88.9%), 「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている」(肯定的回答；本校91.7%, 県75.3%)などは県平均を上回っていました。

また、平日に2時間以上家庭学習を行っている生徒は66.7%いる反面、平日に2時間以上テレビを見ている生徒が58.4%, 1時間以上テレビゲームをしている生徒が75.0%おり、家庭での過ごし方に課題が見られました。

これら二つの調査から、本校の基礎的な学力はおおむね定着しつつあると考えていますが、資料や情報を読み取り、既習の基礎的・基本的な知識を統合・活用して答える問題について課題がある結果となっています。

今後も、これらの調査結果を生かしながら授業改善をおこない、学力向上と自己効力感の醸成やキャリア教育の一層の充実を図ってまいります。